

日吉台地下壕保存の会

会 報

第20号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費)一口千円で、一口以上

郵便振込(口座番号)横浜2-62997

(加入者名)日吉台地下壕保存の会

*****		*****
*	平和のための戦争展	*
*		*
*	イベント特集	*
*		*
*	私の町から戦争が見える	*
*		*
*****		*****

目次	頁
○私の町から戦争が見える	1
○平和のための戦争展 実施要項	2
○平和のための戦争展 賛同のお願い	2
○登戸研究所とは	2
○第2回イベント打ち合せ会	3
○第6回幹事会報告	4

平和のための戦争展

「私の町から戦争が見える」

……「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の謎を追う……

太平洋戦争が終わって半世紀近くになり、戦争を知らない世代が圧倒的に多くなりました。

ところが、昨年から今年にかけて、従軍慰安婦問題やB・C級戦犯の補償を求める動きなど、アジア各地から戦後補償を求める訴訟が数多く提起されました。その最中に他方ではPKO協力法により自衛隊が海外に派遣される事態も生じ、これまたアジア各地からの危惧が表明されています。

あの一五年間にわたった戦争とは何だったのか、もう一度深めつつ平和のあり方を考えあつていくことが求められているように思います。そこで、川崎にあった謀略秘密基地の陸軍登戸研究所と、日吉にあった海軍の連合艦隊司令部などが使用した地下壕の、今まで明らかになつた調査をふまえて、「私たちの町から戦争が見える」というテーマで、展示・討論などを行うこととしました。是非、御協力をお願い申し上げます。

主催 平和のための戦争展実行委員会

共催 川崎市中原教育学区記録編集委員会

(川崎市教育委員会主催事業の委員会)

川崎市中原平和人権尊重学区企画委員会

(川崎市教育委員会主催事業の委員会)

日吉台地下壕保存の会

後援 川崎市平和館

平和のための戦争展

実 施 要 項

日時 一九九二年（平成四年）二月二日（土）午後一時より
二月三日（日）午後四時まで

場所 川崎市平和館

内容

△展示▽ 「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の遺品や写真
△シンポジウム▽ 「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の調査
の現状および今後の課題

△討論▽ 若者たちによる平和メッセージ

△公演▽ 野麦オーブンスクールの生徒による発表、
民舞、組曲・家列車がやってくる、手話ダンス

△映画▽ 白旗を持った少女、戦場ぬ童ほか

△ビデオ▽ 登戸研究所、日吉台地下壕ほか

運営 賛同団体と賛同する個人によって実行委員会が作られ、
その実行委員会が運営に当たる。

プレイベント 「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の現地見学
△登戸研究所▽ 二月一日（日）午後一時、小田急線生田駅

改札口集合。参加費（資料代など）五〇〇円（当日徴収）

自由参加（申込不要）

△日吉台地下壕▽ 二月三日（土）午後一時半、

日吉地区センター（東横線日吉駅下車徒歩六分）集合。

参加費（資料代など）五〇〇円（当日徴収）。

定員二五名（申込制・先着順。往復ハガキに、住所・氏名、
電話番号を書いて、申し込む。申込先は、

〒二三三 横浜市港北区下田町三一五一・二七 寺田貞治）

●参加者は必ず長靴と懐中電灯を用意してくること。

平和のための戦争展

賛同のお願ひ

別紙の通り「平和のための戦争展」を行うにあたって、多
の人々および団体の賛同を呼びかけます。

なお、賛同してくださる場合は、左記の御協力をお願い致
します。

記

一、二月二日（土）と二月三日（日）の御参加と運
営への御協力

二、賛同金の御協力

個人 一口五〇〇円、

団体 一口一〇〇〇円

賛同金は、一口以上何口でも結構です。宜しくお願い致
します。

※賛同金の振替の口座番号と名称は、下記の通りです。

口座番号 横浜九一二四四四七

名 称 平和のための戦争展実行委員会

●次回実行委員会は 二月五日（木）午後六時より、川崎
市平和館第二会議室で行いますので御参加下さい。

登戸研究所とは

登戸研究所は、一九一九年（大正八年）設立の陸軍科学研
究所に始まる。第一次世界大戦が國家総力戦の様相を呈し、
武力戦だけでなく、後方攪乱戦、情報獲得戦、宣伝戦が重要
な側面を示すようになった。そこで陸軍はこうした研究を急
いだのである。

そして、一九二七年（昭和二年）には科学研究所内に「秘密戦資料研究所」（篠田研究室）を設置したが、これが登戸研究所の誕生といえるものであった。その後、一九三一年（昭和六年）九月に組織が拡充され、一九三七年（昭和十二年）には川崎市登戸に移転し、本格的な研究を開始することになった。一九三八年（昭和十三年）に「後方勤務員養成所」が登戸に開設され、一九三九年（昭和十四年）四月中野に移転し、陸軍中野学校と呼ばれるようになった。

秘密戦とは、宣伝・防諜・諜報・謀略を任務とする戦いであり、登戸研究所は「最悪ノ場合ニ用フル」兵器も含め、あらゆる秘密戦用の兵器を研究・開発・製造・技術指導していた機関であった。

登戸研究所の組織と研究は次のようであった。

●総務科Ⅱ（総務全般）

●第一科Ⅱ（物理関係全般）

諜者用無線通信機、無線探査機材、電信・電話の盗聴器、怪力光線、風船爆弾、可搬用録音器、有線探偵装軌車、熱戦利用兵器、宣伝用器材、宣伝用自動車

●第二科Ⅱ（科学関係全般）

秘密インキ、諜者用カメラ、毒物、細菌、特殊爆弾、時限信管、風船爆弾の一部

●第三科Ⅱ（経済諜略資料）

印刷関係資料の調査・研究及び製造、紙幣偽造、書類・パスポート・各種証明書の偽造

●第四科Ⅱ（第一、第二科が研究開発した器材を実用化する

ための最終実験及び製造工場の管理・運営）

補給業務、中野学校・憲兵指令部・各地総軍参謀部宛各種

秘密戦資料の技術指導

第二回イベント

打ちあひせ△△△ 報告生口

日時 一九九二年一〇月一日

午後五時半～八時

場所 日吉地区センター和室

参加者 日吉台地下壕関係者

登戸研究所関係者

内容 司会Ⅱ寺田

一、自己紹介

二、イベントの打ち合せ

○主催 平和のための戦争展

実行委員会

○後援 川崎市教育委員会

（予定）

川崎市平和館、

（予定）

○共催 *川崎市中原平和教育

学級記録編集委員会

*川崎市平和人権学級

企画委員会

*日吉台地下壕保存の会

○賛同団体（一〇月一日現在）

*川崎高校生平和ゼミナール

*野麦オーブンスクール、

*ともだち書店

○賛同人（一〇月一日現在）

*日吉台地下壕関係Ⅱ寺田・

加賀谷・白鶴・亀岡・林

、中沢・橋本・喜田・谷藤

足立・岡上・小園・落合

箕浦・馬養

*登戸研究所関係Ⅱ渡辺

郡司・陣内・村田・橋本

背戸・吉池・島田・木下

三、イベントの開催のピラ

○よびかけ文の作成：寺田

○賛同団体・賛同人の要請の

案内：寺田

○イベントの基本プラン

1、イベントのテーマ

日吉台地下壕、登戸研究所

を通して、戦争の実態を考

える。

2、プレイベント

日吉台地下壕と登戸研究所

の現地見学会を行う。

参加費（資料代）五〇〇円

3、賛同の要請と要件

*加入の期限

第一次募集Ⅱ一〇月一日

第二次募集Ⅱ一〇月五日

*賛同金

団体Ⅱ一〇一〇〇〇円

個人Ⅱ一〇五〇〇円

*イベント参加費

資料代として当日販売

販売価格は五〇〇円

*資料の作成

登戸研究所関係のグループ
と日吉台地下壕保存の会で
それぞれ用意する。

5、開場時間

一二月一二日(土)

午後一時～五時

一二月一三日(日)

午前一時～午後三時半

四、イベントの内容と担当

○受付：担当

○ビデオ：担当

登戸研究所、日吉台地下壕

松代大本営その他

○映画：担当

白旗をもった少女、

戦場ぬきその他

(子供向けのアニメ映画も
入れる)

○講演：担当

寺田・渡辺

●柳部 初田 重人 氏

(予定していたが中止)

●渡辺 登戸研究所の話、

寺田 日吉台地下壕の話

日時：一三日午前一時
～二時

●討論：一三日午後一時

～三時

○シンポジウム：担当

郡司

●登戸研究所の調査や日吉

台地下壕の調査、差別や

人権問題にかかわり活動

している若者を中心とし

て行う。渡辺・寺田が最

初に日吉台地下壕や登戸

研究所のもつ意味を話し、

問題提起をする

日時：一二日午後一時～

○舞台：

●野麦オーブンスクールの

公演 高校生、

●民舞と太鼓(?) 子供

○展示：担当

○出店：担当

弁当など生協にお願いする。
お願いできなければ中止。

第六回松井車事△△報生口

日時：一〇月一四日(水)

午後五時三〇分より

場所 藤山記念館中会議室

報告事項

事務局長より

一、会員数

(一〇月一二日現在)

二、九月一〇日：第一回イベ

ント「平和のための戦争展」

打ち合せ。

三、九月一五日：県の「神奈

川と朝鮮との関係史」調査

委員会。

四、一〇月一日：第二回イベ

ント「平和のための戦争展」

打ち合せ。

五、一〇月三日：元連合艦隊

司令部通信隊の下士官・兵

の会の地下壕見学会。二〇

名参加。

六、一〇月一八日：県の「神

奈川と朝鮮との関係史」調

査委員会。

七、一〇月二二日：慶應大学

白井ゼミの学生、地下壕見

学。約一三名参加。

八、一一月三日：神奈川県高

等学校教科研究会社会科部

会の見学会予定。

九、一一月五日：第三回イベ

ント「平和のための戦争展」

打ち合せ予定。

一〇、一一月一日：第七回

地下壕保存の会幹事会予定

一一、一一月一五日：登戸研

究所見学会予定。

一二、一一月二二日・二八日

日吉台地下壕見学会予定

一三、一二月三日：自治労横

浜支部の地下壕見学会予定。

一四、一二月一二・一三日：

イベント「平和のための戦

争展」開催予定。

議事

1、パンフレットの発行

寺田と加賀谷でまとめる。

2、会報第一九号・二〇号の

発行・郵送事務、

3、イベントのよびかけ・賛

同・宣伝のビラの配布

4、イベント計画

5、イベントの内容

6、イベントの賛同者の募集

訂正

会報第一九号の一ページ

「ソフィの選択」の

一行目 地下号を地下壕に、

三行目 の原を野原に、

御訂正下さい。